

第9期 報告

2017.4.1 ▶ 2018.3.31



ICDAホールディングス株式会社

株主の皆様へ

株主の皆様には平素より温かいご支援を賜りまして厚く御礼申し上げます。

ここに当社第9期通期の株主通信をお届けするにあたりまして、一言ご挨拶を申し上げます。第9期では、国内新車販売台数は519万7千台(前期比2.3%増【自販連調べ】)と国内新車販売台数が2年連続500万台を突破しました。

当社主力事業のホンダの国内新車販売も72万4千台(前期比2.0%増)と堅調に推移しました。また、輸入車国内新車販売台数は30万3千台(前期比1.7%増【日本自動車輸入車組合調べ】)、当社取扱ブランドVW4万8千台(前期比0.9%増)、Audi2万8千台(前期比0.3%減)、Porsche6千8百台(前期比6.5%減)と引き続き厳しい状況となりました。その中において中古車事業は、個々の商品を見直すことで、在庫回転日数、在庫回転率等の効率化を図ることにより、高収益を生み出す事となりました。自動車リサイクル事業では、資源相場(鉄・銅・アルミ等)の価格安定・リユースパーツの拡販強化により売上が増加した事により、使用済自動車の在庫も増加いたしました。セグメント利益(営業利益)は1億42百万円(前期比128.6%増)となりました。事業部別の売上高は、新車部門(ホンダ車)は前期比110.6%、輸入車新車部門は同100.9%、中古車部門は同112.2%、自動車リサイクル部門同113.5%となっております。

今期の国内ホンダは2017年9月フルモデルチェンジの軽自動車N-BOXが全車種に安全装備(ホンダセンシング)を装着し前期国内新車販売台数No.1となり、引き続き今期も好調に推移すると思われま。また今期ニューモデルSUVも投入が予定されています。また輸入車VWグループ(VW・Audi)もニューモデルの多数投入が予定され、今期は輸入車事業が牽引役の年となります。中古車事業は、引き続き改革を推進するため、既存の中古車商品センターの移転計画を考えており、自動車流通バリューチェーンクロス・ミックスビジネスを強化拡大し、新車ディーラーとして新車商品に左右されない安定成長戦略を構築してまいります。

株主・投資家の皆様におかれましては、引き続き格別のご理解とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



代表取締役社長
向井 弘光

2018年6月

連結業績ハイライト

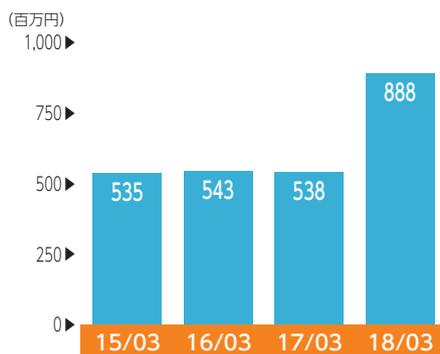
当期のポイント

- 新店舗及び新型車発売の効果により、販売台数が増加
- 自動車販売台数の増加により、増収増益へ

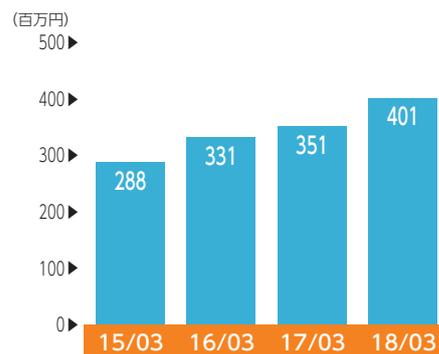
売上高



経常利益



親会社株主に帰属する当期純利益



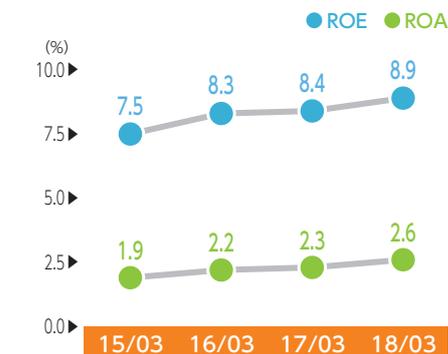
1株当たり当期純利益/PER



1株当たり純資産/PBR



ROE/ROA



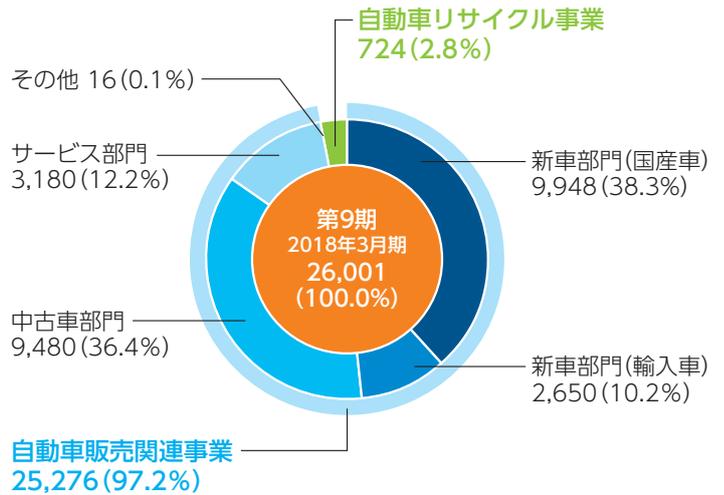
事業紹介

当社グループは、本田技研工業株式会社の新車ディーラーを中心に新車・中古車の販売を行う株式会社ホンダ四輪販売三重北、輸入車の新車ディーラー・中古車の販売を行う株式会社オートモール、自動車のリサイクルを行う株式会社マーク・コーポレーションの連結子会社3社及び純粋持株会社である当社により構成されております。

グループ間にて新車販売・中古車販売・中古車買取・アフターサービス・リサイクルの流通経路を網羅することで、最終顧客であるお客様に向けて製商品やサービスの付加価値を最大化していくバリューチェーンクロス・ミックスビジネスを展開しております。当社グループの事業は、自動車販売関連事業及び自動車リサイクル事業のセグメントに分けられます。

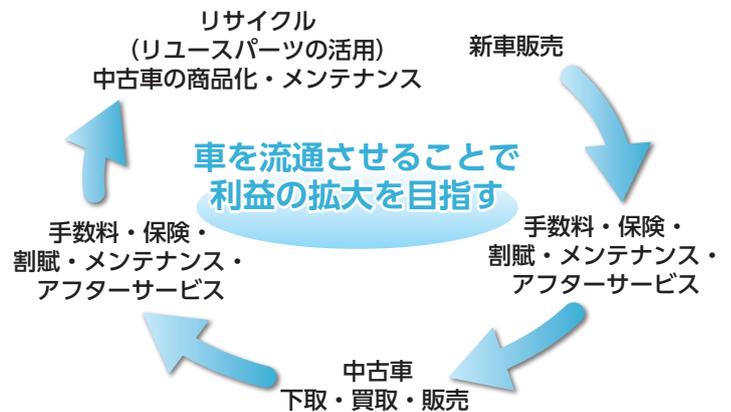
事業別売上高構成比(連結)

単位:百万円



事業の特徴(独自の中古車流通)

新車店舗及び中古車店舗ホンダオートテラス・ヴァーサス・POINT[®]等での下取車・買取車は、車種や状態等に合わせ、グループ内の最適な経路で効率良く流通させています。車買取のPOINT[®]や鈴鹿オートリサイクルセンターをグループ内に有することで、以前にお買い上げいただいた車を他社より高値(市場価格)で下取したり、低年式車や多走行車の買取も可能となります。このようにお客様が車を売りやすい仕組みがあるため、当社グループも潤沢な中古車の確保が可能となります。また、潤沢な中古車を保有することで販売においても、お客様の選択肢等が増えることにより、バリューチェーンクロス・ミックスビジネスに繋がります。



ICDAホールディングス株式会社

自動車販売関連事業

株式会社ホンダ四輪販売三重北

- ホンダカーズ三重北 ●ホンダオートテラス
- ヴァーサス ●POINT[®]



Honda Cars 三重北

- 新車販売(本田技研工業株式会社 正規ディーラー)
- 中古車販売・買取(全メーカー)
- サービス

株式会社オートモール

- フォルクスワーゲン ●アウディ三重
- ボルシェセンター鈴鹿 ●ヴァーサス
- POINT[®]



AutoMall

- 新車販売(フォルクスワーゲン・アウディ・ボルシェ正規ディーラー)
- 中古車販売・買取(全メーカー)
- サービス

自動車リサイクル事業

株式会社マーク・コーポレーション

- 鈴鹿オートリサイクルセンター



鈴鹿オートリサイクルセンター

- リユースパーツ販売(国内リユースパーツ販売・海外リユースパーツ販売)
- リサイクル資源販売



ICDAホールディングスグループは、1967年にモータースポーツ発祥の聖地、三重県鈴鹿市で向井自動車商会を創業してから、今年の5月で創業50周年の節目を迎えることができました。

これまで支えてくださった多くの方へ感謝を表すとともに、新たなステージへと気持ちを1つにするため、2017年12月13日に創業50周年感謝の集いを開催いたしました。

式典当日は、会場である鈴鹿サーキットS-PLAZA内で、お食事やステージの観覧をお楽しみいただきました。ステージでは、トランペットの楽器演奏や、和太鼓の上演など、華やかに催された式典となりました。また、ご来賓の方々から激励のメッセージも頂戴いたしました。

2018年3月10日、日本リーグ最終戦でHC名古屋に勝利し、三重バイオレットアイリスは日本リーグで2年連続のプレーオフ出場が決まりました。プレーオフでは惜敗したものの、日本一を目指して日々練習に取り組んでいます。

トピックス

(株)ホンダ四輪販売三重北(Honda Cars 三重北)は、2018年2月18日(日)に開催された「第11回 美しい国三重市町対抗駅伝」の運営車両として、審判長車、監察車に「N-BOX」を4台、総務車、救護車に「ステップワゴン」を2台提供するとともに、運行するドライバー6名も併せて派遣しました。



コーポレートデータ (2018年3月31日現在)

商号	ICDAホールディングス株式会社 International Conglomerate of Distribution for Automobile Holdings Co.,Ltd.
設立	2009年10月1日
資本金	1,161百万円
決算期	3月31日
事業内容	自動車販売関連事業及び自動車リサイクル事業を 行う子会社の経営管理業務
従業員数 (グループ会社)	ICDAホールディングス株式会社：12名 株式会社ホンダ四輪販売三重北：227名 株式会社オートモール：81名 株式会社マーク・コーポレーション：26名 グループ総合計：346名

役員(2018年6月20日現在)

代表取締役社長	向井 弘光
代表取締役副社長	向井 俊樹
取締役	江藤 隆仁
取締役	黒田 悟郎
社外取締役	高木 純一
取締役(常勤監査等委員)	桶本 進
社外取締役(監査等委員)	伊藤 保元
社外取締役(監査等委員)	山川 明伸

株式の状況

発行可能株式総数	6,000,000株
発行済株式の総数	2,099,936株(自己株式64株を除く)
単元株式数	100株
株主数	939名

大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社エム・エフ	524,470	24.97
向井 俊樹	281,430	13.40
向井 弘光	272,510	12.97
ICDAグループ社員持株会	174,326	8.30
向井 なよ子	83,970	3.99
株式会社百五銀行	63,000	3.00
株式会社三重銀行	42,000	2.00
向井 崇	40,000	1.90
米山 鐘秀	37,300	1.77
向井 未安	29,540	1.40

〒513-0802
三重県鈴鹿市飯野寺家町234番地の1
TEL：059-381-5540

ICDAホールディングス株式会社

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月中
定時株主総会の 基準日	毎年3月31日
剰余金の配当の 基準日	3月31日 9月30日(中間配当を実施する場合)
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	名古屋市中区栄三丁目15番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031(フリーダイヤル)
公告方法	電子公告の方法により行います。 ※ただし、事故その他やむを得ない事由によって 電子公告による公告をすることが出来ない 場合の公告方法は、日本経済新聞に掲載する 方法とする。 〈電子公告掲載URL〉 http://www.icda.jp/
上場取引所	東京証券取引所市場第二部 名古屋証券取引所市場第二部
証券コード	3184



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。



環境保全のため、FSC® 認証紙と植物油インキを使用
して印刷しています。

